

## 2022 年度 事業報告

(2022 年4月 1 日～2023 年3月 31日)

### ◆はじめに

新型コロナウイルスのパンデミックのなかで過ごしたこの 3 年間、世界も日本も大きく変化しました。世界に衝撃を与えたロシアのウクライナ侵攻は今もなお収束の兆しはみえず、核の脅威が現実のものとなっています。また、ミャンマーでは軍事政権による市民の弾圧が続き、アフガニスタンでのタリバン政権による女性への抑圧など、世界各地で人権侵害が起こっています。さらに、パキスタンの洪水、トルコ・シリアの大地震など、自然災害による犠牲者もあとを絶たず、新たな難民も生まれています。一方日本では、安全保障政策と原発政策の大転換、物価高やエネルギーの高騰により私たちの暮らしは不安を増すばかりです。

そのような時勢のなか、WE ショップはこの 1 年、試行錯誤を繰り返しながらも、徐々に通常に戻しながら営業を続けました。コロナ前と比べると客数、寄付数の減少で引き続き厳しい状況ではありますが、それでも 2 店舗とも 600 万円近くの収益を上げることができたのは、スタッフのマネージメント力に加えて、WE ショップでのお買い物を楽しみに足を運んで下さるお客様と、少しずつの時間と労力を惜しみなく出し合って支えて下さっているボランティアの皆さんのおかげです。

さらに、2022 年度は 70 万円を超える支援金を生み出すことができました。リユース・リサイクルの活動を進めながら、店頭募金とショップの売上のなかから弱い立場の人たちへ支援するという WE の仕組みは、これも地域の方たちの賛同と協力に支えられて成り立っています。

22 年間、地域のリユース・リサイクル拠点として非営利の活動を続けてきましたが、高齢化したボランティアによる活動も多難となってきました。環境保護への関心や、SDGs への理解が社会的に高まってきている今、WE ショップの存在価値を今一度見直し、多世代が楽しく気軽に参加できる仕組みを皆で考えていきたいと思えます。

### I. 資源のリユース・リサイクルを推進する事業（リユース・リサイクル事業）

1. WE ショップ星川店、天王町店でリユース・リサイクル事業をすすめ、資源の循環と寄付品の有効活用を図りました。

年間売上目標額 星川店 545万円(営業日数 234 日)、天王町店600万円(236日)

星川	衣類 205 万円	雑貨 230 万円	リメイク 45 万円	着物 65 万円
天王町	衣類 275 万円	雑貨 270 万円	トレード 55万円	

### 【星川店活動報告】

年間売上実績:6,010,323 円(税込)(目標比 110,2% 前年比119%) 1日平均高 25,685円

営業日数:234日(前年比105%) 客数:6,542 人(月平均 545 人・1日平均 28人 前年比 105,2%)

寄付件数:1295件(新規 30 件 前年比134%) ショップボランティア延べ人数:715人 (前年比125%)

- 1) スタッフ・ボランティア体制： スタッフ4人体制でショップ運営を行いました。 保土ヶ谷区社協のボランティアセンターより4月にボランティア 2 名、10月にボランティア1名の参加があり、ボランティア総数も増え安定した運営に寄与、ボランティア回数も増え継続しています。 残念ながらスタッフ1名が今年度末で退職する事になりました。
- 2) 新型コロナウイルス感染防止対策： コロナ禍対策をしながらの3年目。引き続きボランティアさんと共に感染防止対策に協力して貰いました。5月からは営業時間が延長、来店者数も増加傾向となり売上に繋がっていきました。相変わらず「密」にならない様にカテゴリ別の販売方法を取り入れ、毎月のスタッフミーティングで討議しながらショップ運営をしました。感染対策をしながらの全品半額の企画開催も徐々に再開し賑わいました。今後の感染状況も注視しながら、企画していきます。
- 3) 地域の活動団体との交流と共に情報発信場所の役割として、前年度に引き続き、廃油の回収、資源を生かす取り組みとしての羽毛の回収を実施しました(羽毛布団21枚、ダウンコート23枚)。更に地域活性化につながる地場野菜販売も4年目になります。 これらはお客様に徐々に浸透し、非常に好評を得ています。
- 4) 着物販売： 昨年に引き続き「着物、帯、和装小物」など着物コーナーをショップ内に常設化し、月 1 回着物アドバイザーの参加が定着しました。マネキンへのモデル着付けが可能になり、また来客への適切なアドバイスも好評です。商品入れ替え時の 9 月、12 月に着物・帯・反物の半額セールを実施して顧客に喜ばれました。今後、新たな顧客獲得に向け更なる企画提案など課題に取り組みます。
- 5) リメイク品販売： 3 年ぶりに企画された WE21 主催のイベント「着物・リメイクフェア」に参加してリメイク作品をアピールしました。 和布から作られた一点物のコートやチュニック、パンツなどの衣類や小物類など、季節の手作り作品は変わらず高く支持されています。また、長引くコロナ禍でマスクの需要は今年度も継続し売上に貢献しました。着物を利用したリメイク作品の「作り手」を増やす事を今後も課題として取り組みます。
- 6) 就労支援受け入れ： ワーカーズ・コレクティブ協会から1名を受け入れました(7月～3月)

星川店

売上実績(目標)

4 月 (20)	短縮営業 10:30~16:00 良品生地 生地半額販売 アクセサリ半額販売	・良品生地をワゴン販売 ・アクセサリ売り場を移動 ・単衣の着物を出す ・新スタッフ研修 5 日~15 日 ・リメイク売上 73 点 69,591 円	525,623円 (48 万円) 客数 570 名 寄付 130 名
5 月 (19)	10:30~17:00営業(9 日 ~) 夏物毛糸・スカーフ・ 手芸品半額販売	・短縮営業終了 ・夏向きアクセサリ常設販売 ・着物常設、アドバイザーの効果あり ・ショップ電力会社切り替え(31 日~)	531,234 円 (42 万円) 客数 574 名 寄付 115 名

	日用雑貨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・YCV チャンネル取材映像放映</li> <li>・廃棄物業者を武松商事に変更</li> <li>・リメイク売上 65 点 51,700 円</li> </ul>	
6 月 (22)	ガラス食器半額販売 バッグ類半額販売 文房具類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・星川商店会主催の星川☆まつり参加(21日)</li> <li>・ガラス類をメインテーブルで販売</li> <li>・リメイク品や着物がコンスタントに売れた</li> <li>・リメイク売上 89 点 61,864 円</li> </ul>	519,436 円 (46 万円) 客数 652 名 寄付 103 名
7 月 (20)	全品半額セール 11～15 日 (目標 25 万円) 共通感謝券配布 (500 円以上お買い上げ5 0%off) 夏物衣類 200 円均一	<ul style="list-style-type: none"> <li>・半額セール実績 233,922 円(237 人)              共通感謝券配布 118 枚</li> <li>・半額対象にした反物・和装小物、浴衣は売上に貢献した。リメイク品もよく売れた</li> <li>・合同スタッフミーティング(6 日)</li> <li>・就労支援受け入れ(4 日～)</li> <li>・リメイク売上 84 点 74,585 円</li> </ul>	498,870 円 (47 万円) 客数 556 名 寄付 92 名
8 月 (18)	共通感謝券使用期間 礼服フェア 手芸用品 ガラス 3 個 100 円 七五三着物販売開始	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共通感謝券回収枚数73枚</li> <li>・神奈川新聞取材受け入れ(8/3)</li> <li>・夏季休業 8/11～8/17</li> <li>・朝市街道休み</li> </ul>	380,705 円 (40 万円) 客数 439 名 寄付 110 名
9 月 (20)	夏着物・帯半額(反物・和装 小物含む) 生地よりどり 3 個 200 円 毛糸スカーフ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・着物チラシ 100 枚配布</li> <li>・衿着物販売</li> <li>・七五三着物半額</li> <li>・良品着物反物をリメイクしたパンツが安定的に売れる</li> <li>・ロイダッツチャリティショップの調査受け入れ(26 日)</li> </ul>	458,983 円 (43 万円) 客数 504 名 寄付 83 名
10 月 (20)	貧困なくそうキャンペーン 17 日 アクセサリーフェア 文房具、スカーフ、ハンカチ 半額	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もやいへ寄付</li> <li>17 日売上:36,985 円 募金 12,614 円</li> <li>・フードドライブ</li> <li>・フードバンクかながわへダンボール 2 箱寄付</li> </ul>	525,634 円 (45 万円) 客数529名 寄付119名
11 月 (20)	茶道具フェア 食器・下記・台所用品半額	<ul style="list-style-type: none"> <li>・茶道具をテーブルにディスプレイしてアピール</li> <li>・クリスマス商品販売 10 日～</li> </ul>	555,077 円 (46 万円) 客数 612 名 寄付数 124 名
12 月 (17)	着物・帯・反物・和装小物 半額	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬季休業 12/24～1/5</li> </ul>	509,776 円 (47 万円)

	お正月品フェア バッグ・小袋類半額		客数 512名 寄付数120名
1月 (17)	初売り(全品半額)6日 ウール着物半額・羽織道行・ 雨コート 2枚 500円均一	・初売り売上げ (6日) 139,275円 ・JIM-NET チョコ募金(1/11~2月)	527,767円 (42万円) 客数585名 寄付数93名
2月 (19)	ウール着物 300円均一 帽子・マフラー・スカーフ半 額、ストッキング 50円	・WE21 ジャパン着物リメイクフェア(1日、2 日)に参加した。リメイク品売上40,370円 ・トルコ・シリア大地震緊急支援募金(2/15~)	377,779円 (48万円) 客数 411名 寄付数 89名
3月 (22)	3.11を忘れない 10日 創業祭13~15日	・10日の売上全額寄付 11,940円 ・創業祭売上 247,737円	599,439円 (51万円) 客数 598名 寄付数 102名

衣類 2,044,674円(目標 205万円) 雑貨 2,418,101円(目標 230万円)

リメイク 73,9440円 (目標 45万円) 着物 808,108円 (目標 65万円)

売上合計 6,010,323円(税込) 達成率 110,3%

### 【天王町店活動報告】

年間売上実績:5,872,799円(税込)(目標比 97,8% 前年比 116,5%) 1日平均高 24,895円

営業日数:236日(前年比105,3%) 客数:7,243人(月平均 604人・1日平均28人 前年比 107,8%)

寄付件数:1,279件(新規 49件 前年比 93,4%) ショップボランティア延べ人数:660人(前年比98%)

1)スタッフ・ボランティア体制:4人体制でショップ運営を行いました。

ボランティアが少ないため曜日によっては、朝1人の時があることから、できるだけ1人にならないようにスタッフ間で補いました。グループLINEを活用してスタッフ間のコミュニケーションがよくなりました。

2)5月9日から17時までの営業となり、客足は増えましたが、売上にはつながりませんでした。コロナの中の創業祭、秋・冬感謝セール、初売り等人数制限をしながらセールを行うことができました。

10月18日からの「イオンスタイル天王町」の新装開店に伴い新規のお客さんが増え売り上げが伸びてきました。創業祭と初売りには500円以上購入の方には、半額券のプレゼントをおこないました。

時計の電池交換をしてもらい販売しました。(16個 15,620円の売り上げ)

3)フェアトレードフェアを5月16日~21日、12月5日~11日まで2回開催することができました。12月4日の保土ヶ谷公会堂で行われた「ほどがやサンタプロジェクト2022」に参加し、フェアトレード品のアピールをすることができました。

4)「3・11を忘れない」イベントとして東北支援品(ムラカミの海産物・百屋のカレー)を仕入れ、9月・3月に販売しました。

5)循環型活動をめざす環境団体の資源活動の回収拠点として、グリーンダウンプロジェクト(羽毛のリサイクル)に協力しました(羽毛布団11枚、ダウンコート23枚)。廃油と携帯電話の資源回収にも努めました。

サーキュラーコットンファクトリーの活動に賛同し、WE21 ジャパンの白 Cotton の回収に協力しました(4袋)。地場野菜の朝市街道も定着し認知されてきました。なじみのない野菜は農家さんに教えてもらったレンピをポップにして紹介しました。

特別養護老人ホームラポール三ツ沢、地域活動支援センタートラックに、新聞やタオル、綿のTシャツ等を寄付しました。

6)就労支援受け入れ:ワーカーズ・コレクティブ協会から1名を受け入れました(2月~3月)

天王町店

売上実績(目標)

4月 (20)	短縮営業 10:30~16:00 長袖衣類半額	・しょうがパウダー15袋販売 ・フェアトレード売上 31点 22,960円	443,534円 (45万円) 客数 554名 寄付 127名
5月 (22)	10:30~17:00 営業 (9日~) フェアトレードフェア 16~21日	・短縮営業終了 ・フェアトレードフェアでは、Act for Childの ハンディクラフト品販売の効果あり 売上 51,170円(目標 5万円) フェアトレード売上 104点 75,397円 ショップ電力会社切り替え(31日~)	484,987円 (50万円) 客数 595名 寄付 115名
6月 (21)	ガラス食器半額 手芸用品半額	・ガラス 77点 7,518円 ・手芸 115点 15,185円(整理ができた) ・水着がコンスタントに売れた ・時計電池交換 ・テレミン商店街HPの情報更新 ・フェアトレード売上 36点 24,329円	463,939円 (45万円) 客数 640名 寄付 107名
7月 (21)	創業祭 7日~9日 (目標 25万円) 共通感謝券配布 (500円以上お買い上げ 50%off)	・創業祭 実績 205,202円(278人) 共通感謝券配布枚数146枚 買い物カゴ7個で人数制限 ・合同スタッフミーティング(6日) ・フェアトレード売上 32点 23,616円	455,728円 (60万円) 客数 588名 寄付 89名
8月 (16)	共通感謝券使用期間 帽子半額	・共通感謝券回収枚数92枚 ・夏季休業 8/10~8/17	329,477円 (44万円)

	ガラス製品反駁	・朝市街道休み ・フェアトレード売上 23点 16,627円	客数 425名 寄付 84名
9月 (20)	東北支援品販売 雑貨半額 夏物衣類半額	・東北支援品実績 :56,764円 ・ロイダッツチャリティショップの調査受け入れ (26日)	379,197円 (48万円) 客数 504名 寄付 98名
10月 (21)	貧困なくそうキャンペーン 食器・台所用品半額 衣類半額	・「もやい」へ寄付 17日売上:20,030円 募金 6,325円 ・フードドライブ フードバンクかながわへ ダンボール 2箱寄付 ・フェアトレード棚を移動	624,125円 (50万円) 客数727名 寄付127名
11月 (20)	秋冬感謝セール 22~26日(4日間)	・秋冬感謝セール売り上げ:395,853円 目標 30万円 チラシ 500枚	760,661円 (58万円) 客数851名 寄付122名
12月 (18)	フェアトレードフェア 5日~9日	・ほどがやサンタプロジェクト参加者の見学受け入れ(12/3) ・ほどがやサンタプロジェクト2022「フェアトレードマーケット」に参加(12/4) ・フェアトレードフェア売上 58,903円 ・冬季休業 12/25~1/5	511,750円 (51万円) 客数507名 寄付114名
1月 (18)	初売り6日、7日 冬物衣類半額 台所用品半額	・初売り売上 177,105円 ・JIM-NET チョコ募金(1/11~2月)	549,521円 (51万円) 客数706名 寄付92名
2月 (18)	マフラー帽子スカーフ 雑貨 手芸用品半額 衣類半額	・トルコ・シリア大地震緊急支援募金(2/15~)	390,494円 (51万円) 客数 530名 寄付数 90名
3月 (21)	3.11を忘れない 東北支援品販売	・11日の売上全額寄付 25,810円 ・東北支援品売上 69,030円 ・大学の調査協力依頼によるショップ見学受け入れ(3/24)	479,386円 (51万円) 客数 616名 寄付数 129名

衣類 2,859,934円(目標 275万円) 雑貨 2,434,617円(270万円)

トレード 578,248円(目標 55万円)

売上合計 5,872,799円(税込) 達成率 97.9%

- ・ 販売(リユース)した衣類点数 星川店 5063点(前年 4801 点) 天王町店 5830点(前年5110点)
  - ・ ショップで販売できなかった衣類は WE21 グループ提携先のナカノ株式会社でさらにリユースリサイクルされました。同社が開発したエコ手袋の販売も行いました。ガラス・陶磁器については、飯室商店、木村管工(株)へ搬出しました。ビンの再生や路盤材などに再資源化されます。
2. 人や社会、地球環境に配慮したエシカルな消費を提案・発信する場として、おおぜいの人が共感し参加できる仕組みを考え、新たな顧客の確保に努めました。
  3. WE ショップが幅広い世代に向けた持続可能なショップであるために、チャリティショップを身近に感じてもらえるよう、ディスプレイやレイアウトを工夫して魅力的なショップづくりに努めました。
  4. 寄付品を有効に活用するため、リメイク品の企画開発に努めました。  
作り手を増やすためのイベントの企画については継続して検討を進めましたが、不特定多数への企画とせず、更なる情報収集のうえ、次年度の継続審議としました。
    - ・ リメイク売上目標 45 万円 売上実績 739,440円(164,3%)
    - ・ リユース・リサイクル部会を 6 回開催しました (6/22,8/24,10/26,12/14,2/22,3/22)
    - ・ リメイクチーム作業&打ち合わせ会を 3 回開催しました(4/19, 5/31,11/29)
    - ・ リメイクに使える着物などの整理・仕分けを行いました(6 月)
    - ・ ほどがや街の応援隊の活動 PR 展に参加。リメイク品を展示アピールしました。  
(保土ヶ谷駅アーバンアートほどがや 9/2-14)
    - ・ WE21 ジャパン主催の着物・リメイクフェアに参加し、ほどがやのリメイク品をアピールしました。  
(2/1-2) 他地域のリメイク品の情報も得ることができて有意義でした。売上 40,370 円
  5. 星川店の着物常設コーナーの認知を広げ、着物の良さがより多くの人に伝わるように情報発信に努めました。 着物売上目標 65 万円 売上実績 808,108 円(124,3%)
    - ・ リユース・リサイクル部会と連携して着物の数や季節に応じた入れ替え、ディスプレイ、リメイク材料への仕分けなどを計画的に行いました。
  6. 廃食油、羽毛製品、ケータイ電話の回収をすすめ、リサイクルによる CO2削減を目指しました。
    - ・ 廃食油回収: TOKYO 油田の回収ステーションとして使用済み油の回収を継続しました。  
回収量 星川店 138kg (前年220kg) CO2 削減量 359kg  
天王町店 190kg (前年265kg) CO2削減量 494kg
    - ・ ショップで使用していた電力の「TOKYO 油電力」が事業休止となったため、自然エネルギーによる電力使用継続のため、「みんな電力」に切り替えました(5/31~)  
廃食油リサイクルハンドソープの販売の固定客も増えています。
    - ・ 羽毛回収: グリーндаウンプロジェクトの協力店としてダウン50%以上の羽毛製品の回収を進めました。 布団 32枚(前年51枚) コート46枚 (前年 48枚)
    - ・ めぐりケータイ: 回収されたレアメタルの売却利益はフィリピン鉱山跡地の緑の回復事業に寄付します。 携帯電話33台 タブレット2 カメラ4 その他5 (前年度35台)
  7. 100%白コットンを分解して紙をつくる「サーキュラーコットンファクトリー」の活動に賛同し、WE21 ジャパンのコットン製品回収に参加しました。 星川店 1 袋 天王町 4 袋
  8. マンネリ化にならないように、お買い物を楽しめるディスプレイの工夫をスタッフミーティングで話し合っ

進めました。

9. 居心地がよく、働きやすいバックヤードになるよう、定期的に整理整頓に努めました。
10. 引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止対策に取り組み、安心安全を優先にした営業を行いました。
  - ・ 5月9日から10:30～17:00の営業時間にしました。また、再び緊急事態宣言、まん延防止等重点措置などが発令された場合のショップ対応を話し合い、緊急事態の場合は休業、まん延の場合は人数制限などで対応することに決めました。
  - ・ 入店時のアルコール消毒、換気に心がけ、密にならないよう滞留人数に配慮しました。セールの際は、整理券を渡して入店人数、買い物時間を制限し、呼びかけを行いました。
  - ・ コロナ療養期間短縮に関する神奈川県からの情報を更新し、ショップで共有しました(9月)
  - ・ 3月13日から、国の方針がマスク着用を個人の判断にすることに対して、多様なお客様への対応を考え、スタッフ、ボランティアは当面の間、着用を継続することを決めました。
11. 緊急時や災害時に備え、9/1防災の日に、LINE、Eメールにて、理事・スタッフの災害緊急連絡態勢を確認を行いました。
12. ショップの情報をホームページ、フェイスブックでタイムリーに発信しました。
  - ・ HP更新 星川店 12回 天王町店11回 お知らせ 11回
  - ・ Facebookの発信 25回 94人いいね 106人フォロー (3/16現在)  
フォロワー数アップのためにFacebookのQRコードをレジ横に置きました。

【日時】通年

【場所】WE ショップほ도가や星川店・天王町店・その他保土ヶ谷区内

【従事者人数】理事 10人・ショップスタッフ6人 リユースリサイクル部会6人  
リメイクチーム9人 ぞうりチーム3人 さきおりチーム2人

【受益対象者】主に保土ヶ谷区内の市民

【支出額】12,155,405 円

## II アジア等における市民、とりわけ女性の生活向上と自立のための活動を支援する事業 (民際協力事業)

1. 国内・国外の枠を越えて、草の根の人々の暮らしの向上、環境の改善、人権尊重、平和の構築などの事業に、資金及び広報、情報提供などで協力することに努めました。
2. 世界で起きている問題にアンテナを張り、支援チームを中心に情報収集に努め、必要なプロジェクトを理事会に提案しました。理事会で討議決定したプロジェクトに、ショップの収益、募金、寄付金を活用して支援を行いました。
3. 同じプロジェクトを支援する WE21 グループの地域 NPO と連携して情報を共有しました。
  - ・ 核兵器廃絶の活動をすすめる「KNOW NUKES TOKYO」の若者たちの、核兵器禁止条約第1回締約国会議参加の情報を、地域 NPO 間で共有し、7地域で報告会を開催してウィーン会議への派遣費用を支援しました(8～9月)。



4. SDGs(国連が定めた持続可能な開発目標)の1つである「貧困をなくそう」をテーマにキャンペーンを実施しました。困窮している人たちの情報を伝え、寄付や店頭募金などで貧困問題に取り組む「自立生活サポートセンター・もやい」への支援を呼びかけました(10月1日~31日)。

- ・「認定 NPO 法人 自立生活サポートセンター・もやい」へ寄付  
星川店 10月17日売上:36,985円 募金 12,614円  
天王町店 10月17日売上:20,030円 募金 12,805円 合計 82,434円

5. 「貧困なくそうキャンペーン」期間にフードドライブを実施しました(10月1日~31日)。

- ・ダンボール4箱を「フードバンクかながわ」へ寄付しました。

6. 「3.11を忘れない」キャンペーンを継続し、寄付先を「福島ほかほかプロジェクト(認定 NPO 法人 FoE Japan)」として、毎月11日の売上げの20%と3月11日の売上げ全額を寄付しました。

- ・4~3月売上×20% 122,896円 (星川 62,840円 天王町 60,056円)  
募金 50,379円 (星川 29,498円 天王町 20,881円)  
合計 173,275円

- ・東北復興への支援品として、気仙沼「ムラカミ」の海産物、百屋のカレーを販売しました。  
(9月)仕入れ費 40,720円 売上 56,764円 (3月)仕入れ費 50,760円 売上 69,030円

7. 支援先プロジェクトの活動への理解を深めるため、活動報告会を開催しました。

- ・有機農業を通して「ゆたかで幸福なコミュニティ(S3)を構築するプロジェクト」(カンボジア)報告会を開催しました。2022年夏にカンボジアの有機農園を訪れた米倉さんから、カンボジアの現状や歴史的背景、有機農業を広げるための農家リーダーの育成など、現地の様々な話を伺うことができました。  
2月19日(日)10:00~11:45 ほどがや市民活動センターアワーズ  
報告者:米倉雪子さん 参加者 14名

8. 市民にフェアトレード品への理解を広めるために、WE ショップでのフェアトレード品の販売を充実し、フェアトレードの認知と販路拡大に努めました。

- ・フェアトレードフェア開催 5月16~21日 売上実績 51,170円  
12月 5~9日 売上実績 58,903円
- ・「ほどがやサンタプロジェクト2022」に参加しました。12月4日(日) 保土ヶ谷公会堂1号会議室にて認定 NPO 法人 WE21 ジャパンとともに、「フェアトレードマーケット」を開催し、フェアトレード品をアピールしました。
- ・フェアトレード品のアピール度を高めるために、陳列をフェアトレード専用棚に移動しました(10月)
- ・フェアトレードへの理解を深めるために、作り手、地域の情報などをわかりやすく伝える名刺大のミニカードを作成し、それぞれのフェアトレード品に添えてアピールしました。
- ・フェアトレード食品を HACCP(食品衛生管理手法の国際的な基準)に沿って管理して販売しました。

【フェアトレード品・物産品の取り組み】

- ① 森育ちのしょうがパウダー フィリピン (ウバパス・ダイヨコン・ランバダ住民組織 シュントック財団)
- ② 森育ちのしょうがクッキー フィリピン (夢21福祉会まどか工房/WE21 ジャパン)
- ③ コーヒー・チキンカレー 東ティモール・ラオス・ペルー・フィリピン・岩手県 (珈琲工場&百屋)
- ④ チョコレート・紅茶・くるみ ペルー、ボリビア、カリフォルニア (ピープルツリー)  
ドミニカ共和国、パラグアイ、インド (第3世界ショップ)



助成金額:100,000円

決定の根拠:①平和村ユナイテッドは2019～2022年度の4年間、現地パートナー団体とともに両国の青少年たちが平和や非暴力を共に学び合う場を作り、意識啓発を図る活動を行ってきた。

2021年からはさらに過激化の場所は拡がっており、平和につながる活動自体も促進していく必要がある。

②2022年度からは、よりアフガニスタンとの国境に近いパキスタンの地域で、過激主義の影響を受けやすい青少年層による学び合いや両国の交流・連帯・協力活動を進めるために、青少年が指導者研修を受けて平和活動を主導するという新規の試みを行っている。

③2023年度からは、2021年の激変を受けて難民となったアフガニスタンの青年たちの活動参加も図り、活動の成果を青年達が社会や政府に発信や提言を行うワークショップも開催する計画である。困難な環境のなかでも平和に向けた取り組みを継続する現地の人たちの思いに共感し、理解することで応援していきたい。

## 2022年度 支援金・募金の報告

認定NPO 法人自立生活サポートセンター・もやい ◆10月貧困なくそうキャンペーン	82,434円 ・57,015円(10/17売上全額寄付) ・25,419円(10月店頭募金)
福島ぽかぽかプロジェクト (認定NPO 法人 FoE Japan) ◆福島の親子の保養プログラム支援	173,275円 ・122,896円(寄付) (毎月11日の売上の20%と3/11売上全額寄付) ・50,379円(通年の店頭募金)
KNOW NUKES TOKYO ◆若者たちの核廃絶に向けての活動への支援	115,000円 ・40,000円(6月ウィーンでの“核兵器禁止条約第1回締約国会議”へ若者たちを派遣する支援寄付) ・18,000円(8/27報告会での会場募金) ・57,000円(寄付)
平和村ユナイテッド ◆パキスタン洪水被害復興支援への寄付(11月)	50,000円(寄付)
特定非営利活動法人 JIM-NET ◆チョコ募金(1月～2月)による支援 (日本イラク支援ネットワーク)	47,441円(募金)
国際NGO ADRAJapan ◆トルコ・シリア大地震緊急支援募金 (2023年2月～3月25日)	51,500円(募金)
公益社団法人フードバンクかながわ	食料品4箱

◆10月貧困なくそうキャンペーン期間の フードドライブ	
保土ヶ谷区社会福祉協議会	物品寄付(マスク 食料品)
地域活動支援センター トラック	物品寄付(リメイク作業用 T シャツ)
放課後等デイサービス はるの家	物品寄付(文房具)
特別養護老人ホーム ラポール三ツ沢	物品寄付(介助用タオル、カット新聞)
フェアトレード品、東北物産品仕入れ販売による生 産者支援	578,248 円(売上げ) 430,025 円(仕入れ費)

寄付・募金合計 519,650 円 フェアトレード品・東北物産品販売による生産者支援 430,025円

## 寄付・募金

### 【1】認定 NPO 法人自立生活サポートセンター・もやい

2022 年度の「貧困をなくそうキャンペーン」は、2016 年度より支援を続けているもやいに絞って実施しました。もやいの活動をより理解するために昨年 10 月 1 日(土)、毎週行われている都庁での「食料配布・生活相談」の活動にボランティアを兼ねて 5 名が参加しました。「もやい」は、ホームレスの人や派遣労働者、生活保護受給者への自立支援を中心に行っている団体ですが、このところの物価上昇等の影響もあり、食料を受け取りに来られる方は、ホームレスの人たちのみならず今までごく普通に生活していた人たちにも及んでいます。当日は、代表の大西連さんからさまざまな現状を伺うことができ、今後の支援・連携についても確認しました。もやいの活動をより身近に感じる一日となりました。

### 【2】福島ぼかぼかプロジェクト(認定 NPO 法人 FoE Japan)

国際環境 NGO FoE Japan が運営する「福島ぼかぼかプロジェクト」では福島の放射線量の高い地域からの親子を対象に、野外でのびのび遊べる場、父母達の語り合う場として猪苗代の「ぼかぼかハウス」を拠点に短期間の保養プロジェクトを提供してきました。

コロナ禍の元、できる限りの感染症対策を取りながら、年間を通じて近隣の散策の他、夏は湖水浴、冬はスキー、食事づくりや味噌づくり、SDGs の学習会や世界の気候変動かるた等のプログラムを企画。22 年度は 10 回開催することが出来ました。(今では初期に参加した子供達が若者に成長し、ボランティアで参加)

又、東京電力福島第 1 原発事故から 12 年が経ち、「復興」がメディアで取り上げられる中、多くの子供たちは原発事故についてあまり知りません。そうした中で、「ぼかぼかプロジェクト」では中高生とお母さん方が原発事故をどのように経験し、乗り越えてきたかを語り合う座談会を開催しました。

不安を抱えて暮らす人々の安らぎや語らいの場として、今も「保養」のニーズは続いています。

WE21 ほどがやでは 2012 年から、3 月 11 日の売上げ全額と毎月 11 日の売上げの 20%、及び店頭募金での支援を継続しています。

### 【3】KNOW NUKES TOKYO (ノーニュークストーキョー)

KNOW NUKES TOKYO は核兵器のない世界をめざして活動する若者たちの団体で、核の問題を被爆地ではなく東京で考える場所をつくりたいと、2021年(大学生を中心に)発足しました。2022年度は、ウィーンで

開催された「核兵器禁止条約第1回締約国会議」に参加し、海外の活動団体ともつながりを作りました。WE21 ジャパンほどがや、ウィーンへの渡航費用を寄付し、8月に報告会を開催しました。

KNOW NUKES TOKYO は、現在地球上に約13,000発もの核兵器の脅威がある世界を、一人一人「個」の存在を大切に出来る社会に変えたいというビジョンを基に、核兵器廃絶への意識を高めるイベントの開催や国会議員、地方自治体の首長や議員との対話活動を進めています。

#### 【4】チョコ募金（特定非営利活動法人 JIM-NET）

チョコ募金を使って、イラク小児がん支援、シリア難民支援、福島の子どもたちを放射能から守る活動の支援、JIM-NET ハウス(小児がん総合支援施設)の運営などを行っています。550 円以上の募金をしてくださった方へ医療を受けている子どもたちが絵を描いたチョコレート缶をお渡ししました。

【日時】 通年

【場所】 横浜市保土ヶ谷区

【従事者人数】 理事 10 人・ショップスタッフ6人 支援チーム 5 人

【受益対象者】 市民 支援先の住民

【支出額】 737,840 円

### Ⅲ 地域市民の国際的な問題意識の向上を図る事業(共育事業)

1. 国内外を問わず社会で起きている問題や、市民に関心のあるテーマで WE 講座を開催しました。

会員・ボランティアに、相互の共育を図るため参加を呼びかけました。コロナ禍のため、市民への広い参加呼びかけはできませんでした。

- ・ 核兵器禁止条約締約国会議参加報告会 8月27日(土)10:30~12:30 参加者 22 名  
講師:KNOW NUKES TOKYO 徳田悠希さん、高橋悠太さん(オンライン参加)
- ・ カンボジア S3 構築プロジェクト報告会 2月19日(日)10:00~11:45 参加者 14 名  
講師:米倉雪子さん

2. ショップに募金箱を複数常設し、募金先の情報を的確に伝え、寄付文化を広げる取り組みをしました。

- ・ 3,11を忘れないための「福島ぼかぼかプロジェクト募金箱」を常設しました。
- ・ JIM-NET のチョコ募金を実施しました(1月~2月)
- ・ トルコ・シリア大地震緊急支援募金を実施しました(2月~) 支援先を認定 NPO 法人 ADRAJapan (アドラジャパン)とし、団体の活動情報を募金箱に掲示しました。

3. 連携する助成団体や寄付団体、市民団体の講座やボランティア活動にメンバーが参加しました。

- ①WE21 ジャパン主催「サーキュラーエコノミー」(5/28)
- ②JANIC 主催アフガニスタンイベント(5/31)
- ③KNOW NUKES TOKYO 帰国報告会(6/1)
- ④JCBL 主催オンラインセミナー(7/26)
- ⑤映画「ゼロ・ウェイスト」上映会(8/7)

- ⑥ジュマネット主催 チッタゴン丘陵地帯の報告会(9/17)
- ⑦自立生活サポートセンター・もやいの、都庁下での食料セット&配布ボランティアに参加(10/1)
- ⑧WE21 さかえ主催ウクライナ支援コンサート(11/9)
- ⑨生活クラブ生協保土ヶ谷/西 commons 主催 「海から見る地球」講座(10/16)
- ⑩WE21 ジャパン主催フォーラム「核兵器のない世界は夢じゃない」(1/9)
- ⑪非戦ネットオンラインセミナー「武力で平和はつukれない～安保3文書と NGO の役割～」(2/17)
- ⑫福島ぽかぽかプロジェクトオンライン報告会「保養の現場から見てきたこと」(2/18)
- ⑬JCBL オンラインセミナー「軍政下のミャンマーで傷ついた人々を支える ～ミャンマー／タイ国境からの最新報告～」(3/1)
- ⑭ジュマ・ネット主催「チッタゴン丘陵地帯の緊急支援」(3/8)

【日時】通年

【場所】主に横浜市保土ヶ谷区

【従事者人数】理事 10 人 ショップスタッフ6人 支援チーム 6 人

【受益対象者】市民 支援先の住民 会員 ボランティア

【支出額】 0 円

#### IV WE21 ほどがや事業の広報普及を図る事業(広報事業)

1. WE21 ほどがやの活動を地域市民に広く知らせる「ほどがやニュース」を広報チームを中心に作成し、2 回発行しました。お客様がチャリティショップを身近に感じられるよう、活動を魅力的に伝える紙面づくりを心がけました。
  - ・ ほどがやニュース 68 号発行(5 月 700 部) 69 号発行(2 月 700 部)
2. 来店者に活動内容や、情報をわかりやすく伝えるために、計画的な掲示を心がけました。
  - ・ 2021 年支援先報告 リユース・リサイクル活動報告を掲示しました。  
お客様にとってわかりやすいショップの掲示場所の確保が、例年の課題となっています。
3. セールやイベント、キャンペーンチラシは、広報チームとショップスタッフ、また支援チームと連携し、視認性の高い掲示物の作成に努めました。
  - ・ セールやフェアのイベントチラシを、随時作成しました。
  - ・ 2021 年度ショップのリユースリサイクル活動報告ミニチラシを配布しました(6 月～)
  - ・ 三つ折りパンフを改訂しました(7 月 500 部)
  - ・ 寄付品提供のお願いチラシを改訂しました(9 月 2000 枚)
4. WE21 ほどがやのホームページ、フェイスブックで、活動の速やかで効果的な情報発信に努めました。
5. WE21 ジャパン主催の新 HP 説明会(10/26)、SNS 研修(11/24)に参加しました。
6. 会員・ボランティア・寄付者への、タイムリーな活動報告や情報提供を心がけました。
  - ・ 通常総会案内 議案書、振込み用紙の送付(5 月)
  - ・ ほどがやニュース 68 号、2021 年度支援報告とリユースリサイクル活動報告、核禁締約国会議報告会の

お知らせの送付(8月)

- ・ 2021年度年次報告書と三つ折りパンフ、貧困なくそうキャンペーンチラシの送付(9月)
- ・ ほ도가やニュース 69号と「めぐりめぐる」の送付(2月)

【日時】通年

【場所】主に横浜市保土ヶ谷区 神奈川県

【従事者人数】理事 10人 ショップスタッフ 6人 広報チーム5人

【受益対象者】市民

【支出額】 78,514円

## V 事業を実践するための組織活動

1. 持続可能な組織づくりのため、組織の充実と活性化、経営基盤の強化を図りました。

(1) 理事会を定例開催し組織運営能力、活動推進力を高めるように努めました。

(2) 各チーム、部会を定例開催し、理事会に報告しました。

- ・ リユース・リサイクル部会 6回 (6/22,8/24,10/26,12/14, 2/22, 3/22)
- ・ 支援・平和チーム 9回 (6/21,7/27,8/31,9/28,11/2,12/21, 1/25, 2/22, 3/29)
- ・ リメイクチーム 3回 (4/19,5/31,11/29)

(3) 会員拡大

- ・ 正会員拡大目標: 個人(年間 2,000円) 60人 → 49人  
団体(年間 10,000円) 1団体 → 0
- ・ 賛助会員拡大目標: 個人(年間 1口 500円) 50口 → 18口(16人)  
団体(年間 3,000円) 1団体 → 1団体

会員継続のための呼びかけを行いました。会費の納入は 49名(会員 57名中)にとどまりました。

新しい会員の拡大もできませんでした。対策が必要です。

(4) 活動への賛同と寄付の呼びかけをし、寄付者拡大を目指しましたが、新たな寄付者を得ることにはつながりませんでした。

(5) 指定NPO法人更新による書類作成、賛同人署名集めを進め、157名の賛同署名を得ることができました。(8月～9月6日)

(6) 持続可能な組織をみざすための具体的な取り組みはできませんでした。

2. スタッフの雇用をすすめます。

(1) スタッフの雇用契約をしました。星川 4名 天王町店 4名

- ・ 個人面談を実施しなかったことで、スタッフそれぞれの現状が把握できず課題が残りました。
- ・ WE21 ジャパン主催のリユース・リサイクルの基礎研修にスタッフ 1名が参加しました(3/9)

(2) ショップ運営を円滑にするために、ショップスタッフミーティングを毎月開催し、理事会に報告、提案を行いました。

- ・ 会計勉強会を中心に、合同スタッフミーティングを開催しました。  
7月6日(水)13:30~16:00 スタッフ7名 代表者3名
- (3)雇用形態を時間給制とし、シフトを調整しながら働きやすいシステムを探りました。よりよい働き方の検証が必要です。
- ・ 10月1日~時給を1,071円に改定しました。

### 3. ボランティアの参加拡大に努めました。

- (1)星川店が4人増員しました。天王町店のボランティア拡大が課題です。
- (2)長引くコロナ禍のなか、ボランティア、チームメンバー同士のコミュニケーションの企画はできませんでした。

### 4. 事務局・会計担当者、広報担当者と業務委託契約を締結しました。

- (1)WE21 ほどがやの事業を円滑に進めるため、事務局・会計管理担当者と業務委託契約を締結しました。
- (2)WE21 ほどがやの広報事業を効果的に進めるため、広報担当者と業務委託契約を締結しました。
- (3)ショップスタッフがショップの会計作業によりかかわるよう検討しました。

### 5. WE21 ジャパン地域NPO, 生活クラブ運動グループ、地域の団体と連携してまちづくりを進めます。

- (1)地域に住む多様な人々、福祉施設や作業所、保土ヶ谷区社会福祉協議会、保土ヶ谷区役所・ほどがや市民活動センター アワーズなどと連携し、相互に理解しあえる社会づくりをめざしました。  
チャリティショップとして、ショップの寄付品を提供して地域でのたすけあいに寄与するなど、寄付品がより生かされるよう、身近な団体に協力しました。
  - ・ 保土ヶ谷区社協にマスク、食品を寄付しました。地域活動センタートラック、特別養護老人ホームラポール三ツ沢に物品寄付の協力をしました。
  - ・ 神奈川新聞「SDGs特集」のWE21 インタビュー記事の取材に協力しました(8/24)
  - ・ ロイダッツチャリティショップの調査活動に協力しました(9/26)
  - ・ 「ほどがやサンプラプロジェクト2022」に参加しました(12/4)
  - ・ WE21 ジャパンを通して大学の「寄付とエシカル消費促進の実証的社会科学研究」の研究調査に協力し、天王町店見学受け入れを行いました(3/24)
- (2)子育て支援団体、子どもサポート関連施設などに WE ショップを知ってもらう試みとして、  
笹山団地で横浜国大生が小・中・高校生を対象に月1回学習のサポートをしている「笹山えんぴつルーム」を訪問し、活動内容の共有を行いました(10/22 3名)。チャリティショップとして何か連携できることを探っていきます。
  - ・ イオンスタイル天王町店が毎月11日のイオンデーに実施している「幸せの黄色いレシートキャンペーン」の団体に登録しました(1月)。2月11日よりキャンペーンに参加して、アピールしています。
- (3)認定NPO法人 WE21 ジャパンとは事業の受託、委託に関する基本契約を結び、また他の WE21 ジャパン地域 NPO とも連携しました。
  - ・ 2022年度 WE21 ジャパン合意による物流事業費・商標使用料・ネットワーク推進費(月額) リユースリサイクル環境事業委託費 737,436円(税込) 商標使用料 240,000円



ネットワーク推進費 14,143 円 合計 991,579 円 (月 82,632 円)

・ WE21 ジャパン主催の着物・リメイクフェアにボランティアとして 13 名が参加しました(2/1,2)

(4) WE ショップを就労体験の場として、星川店 1 名(7 月～3 月) 天王町店 1 名(2 月～3 月)の受け入れを行いました

(5) 星川商店会「星川☆まつり」に星川店のリメイク品や子ども衣類などを販売しました(6/26)

(6) 横浜みなみ生活クラブ協同組合保土ヶ谷/西コモンズとの活動の共有を図るため、環境問題を考える講座に、組合員であるメンバーが出席しました。

(7) ほどがや生涯学習フォーラムまなぶん祭り実行委員会に実行委員として参加しました。

まなぶん祭りに参加し、活動紹介のパネル展示とリメイク品販売を行いました(11/15,16)。

1 月～2 月の保土ヶ谷区役所ギャラリー アーバンアート保土ヶ谷の活動紹介の展示に参加しました。

(8) ほどがや市民活動センター アワーズの協働運営会議に参加しました。

(9) 保土ヶ谷区魅力ある地域まちづくり事業「ほどがや 人・まち・文化振興会」に参加しました。

週に 1 回、ショップで地場野菜の販売協力を行いました(朝市街道・ほどがや産直便)

(10) 横浜市内在住65歳以上の方対象の割引制度「濱ともカード」の利用日を、月2回(1 日、21 日、10%割引)とし、星川店 168 名、天王町店 53 名が利用しました。

(11) 横浜市子育て家庭応援事業「ハマハグ」の登録更新を行い、子育て世代にも入りやすいショップづくりを心がけました。

【日時】通年

【場所】主に横浜市保土ヶ谷区

【従事者人数】理事 10 人 ショップスタッフ6人

【受益対象者】市民 会員 ボランティア

【支出額】 535,139 円

以上